

ときめき人

Tokimeki bito



地域の交通安全に 貢献し50年 内閣総理大臣表彰を 受賞

南方町・高石

大久保 榮志さん

おおくぼ えいし
1944年生まれ 血液型/O型

Profile

1967年に南方町交通安全指導隊に入隊。77年同副隊長、83年佐沼地区交通安全協会理事、95年同副会長を経て、2005年から同会長を9年間務め、14年から同顧問に就任。また、1983年から南方町議会議員を6期22年務める。専業農家で、妻、息子と3人家族。



熊谷盛廣市長に表彰の報告をする大久保さん。

「まさか自分が表彰されるとは、思いもしませんでした」と振り返る。

交通安全や火災予防など、国民の安全について顕著な功績をあげた人を表彰する、平成30年安全功労者内閣総理大臣表彰の表彰式が7月6日、総理大臣官邸で開かれた。大久保さんは、南方町交通安全指導隊や佐沼地区交通安全協会です50年にわたり活動。交通安全思想の普及に尽力したとして、安倍晋三内閣総理大臣から表彰状が授与された。

「50年も活動を続けられたのは、家族の協力と理解があったから。そして、地域の人をはじめ、多くの人の支えがあったからこそ」と感謝する。交通安全指導隊員になったのは、当時の交通安全協会の人や家族に勧められたのがきっかけ。交通指導

隊の活動は、行事での交通整理、街頭指導やパトロールなどで、時には交差点で手信号をすることも。「練習が厳しく、覚えるのに苦労しましたが、交通事故が減っていくことが、なによりうれしい」と、辞めたいと思ったことはなかった。

大久保さんの信条は、自分から行動すること。「死亡事故があれば、すぐに再発防止策を検討し、道路が汚れていれば自分から清掃するようにしています」と、持ち前の行動力と人柄の良さで周囲を牽引し、人望も厚い。

「交通安全で大切なことは、一人一人が自覚と意識を常に持つこと。これからもできる限り活動し、伝えていきたいです」。前を向き続ける大久保さんは、今日も交通安全を願っている。

編集後記

▼7、8月はお祭りを取材。ステージイベントや盆踊りなど、どこも趣向を凝らしていて、楽しみながらの取材になりました。復活したお祭りでは、地域の活性化に向けて頑張っている皆さんの話を聞くことができました。取材にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。ありがとうございました。(小野寺)

▼寄り添い半世紀の渡邊さん夫婦を取材しました。私は、結婚して14年になりましたが、最近は感謝の言葉を言わなくなったように思います。家事や料理をしても、らうことに感謝の気持ち忘れず、これからは「ありがとう」と言葉で伝えようと思います。(高橋)

▼全国大会に出場した選手たちは、みんな堂々としていたのが印象的でした。全国へ勝ち進むために、さまざまな困難を乗り越え、目標を達成した選手たちを尊敬します。広報紙を読んでいる皆さんに、取材した人たちの内容が少しでも伝わるといい文章を書くことが今の私の目標です。(三浦)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>